

信州大学医学部附属病院 消化器内科、消化器外科、呼吸器外科、婦人科に通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025 年 2 月 5 日

「アトマイズ磁性粉を用いたホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織標本からの核酸精製」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6243
研究課題名	アトマイズ磁性粉を用いたホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織標本からの核酸精製
所属（診療科等）	保健学科生体情報検査学
研究責任者（職名）	松田和之（教授）
研究実施期間	医学部長による許可日～2026 年 3 月 19 日
研究の意義、目的	PCR などの遺伝子検査では、細胞から核酸を抽出する必要があります。病理診断に用いられるホルマリン固定パラフィン包埋標本も核酸を抽出できる材料になります。本研究では、アトマイズ磁性粉を用いた新たな核酸精製法の開発を目的としています。将来、効率が良い核酸精製法ができれば、遺伝子検査の精度向上に貢献すると考えられます。
対象となる方	2021 年 1 月 1 日から 2022 年 6 月 31 日の期間に当院で病理検査目的に臓器（肺、リンパ節、肝臓、腎臓、乳腺）が提出され、ホルマリン固定パラフィン包埋標本が作製されて病理診断が確定している方
利用する診療記録／検体	組織種類、病理組織検査結果
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、ホルマリン固定パラフィン包埋標本を選定し、標本からの核酸抽出方法の検討を行います。
共同研究機関名	セイコーエプソン株式会社（研究責任者：蛭間 敬（環境・材料開発部課長））
問い合わせ先	氏名（所属・職名）： 松田和之（生体情報検査学・教授） 電話：0263-37-2365

既存の検体、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。